

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第48回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 6. 30)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第48回 ビジネス文書実務検定試験 (25. 6. 30)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

江戸時代、日本各地から人が集まる江戸には、それぞれの地方の	30
慣習が混在していた。それでも大きな混乱は起こらず、260年も	60
世界有数の都市として栄えた。この理由に「江戸しぐさ」という、	90
行動規範を挙げる人がいる。	104
江戸しぐさの代表的なものには、人混みの中で他人に足を踏まれ	134
たとき、踏まれた側もうかつだったと謝る「うかつあやまり」があ	164
る。また、雨の日に狭い路地で人とすれ違う際、傘を相手と反対側	194
に傾ける「傘かしげ」も有名だ。これらは、商人の行っていた作法	224
が一般に広まったものといわれている。	243
最近では、江戸しぐさが雑誌で紹介されたり、道徳の授業で教材と	273
して活用されたりしている。これは、社会全体のマナーや倫理観の	303
低下に不安を抱く人が、増えたためである。TPOに応じた周囲へ	333
の気配りは、社会では大切なことだ。	351
人は、困ったときに「お互い様」と口にして気遣うことがある。	381
この言葉には、人間関係を大切にしてきた日本人の気質が感じられ	411
る。先人たちが培った日本の良き慣習を見つめ直すことで、平和で	441
より優しい社会が続いていくに違いない。	460